

演劇づくりの一步！初心者・未経験者のための戯曲ワークショップ

「あなたのぎきよく」

日時：10/8 15:30～20:00、10/9 14:00～18:30（両日とも同内容） 場所：新光ビル

講師：樋口ミユ 講師プロフィール：



劇団 Ugly duckling 旗揚げ以降、解散までの劇団公演全作品の戯曲を執筆する。OMS 戯曲賞を最年少・女性初・2年連続大賞受賞し関西若手劇作家としての頭角を現す。

世間を騒がす社会問題を斬新な価値観でとらえ、奇想天外でダイナミックな独特の劇世界を創りあげる。現在、ラジオドラマや雑誌などの執筆依頼を受け、多方面でも実力を発揮している。

NPO法人大阪現代舞台芸術協会（D I V E）理事

10/8と9にそれぞれ同内容で、戯曲に触れる初心者・未経験者向けのワークショップをおこないました。参加者のほとんどが、初心者・未経験者ということで、最初に「戯曲とは？」についてのレクチャーをおこないました。

レクチャーでは、

- ・戯曲と小説の違いについて
- ・戯曲は、特別な人だけが書くものではない。ということ
- ・自分の中のリアリティについて

という3点を中心に、樋口さんの経験によって得た、「戯曲とは？」についてお話していただきました。講師の作る雰囲気により、最初は緊張していた参加者の雰囲気もすぐにほぐれ、積極的に話を聞いていました。



休憩の後、早速、短編を書いてみよう！ということで、共通の登場人物・場所の設定で、2～3分の超短編の戯曲を書いてみました。

「書式は自分の書きやすい形式で大丈夫です！ただ、場所や登場人物については、自分の頭の中でしっかりと想像してみてください。また、誰に向けてこの話を届けたいか？ということも考えてみて。そうすると、自然に登場人物が動き出すと思います」

という講師の言葉を受け、1時間ほどで戯曲を書いた後、みんなで読んで発表。同じ設定でも、書く人が違うと、作品の雰囲気や話の内容もまったく違います。SF風や恋愛物・家族の物語など、いろいろな戯曲ができあがりました。

アンケートでも「プロとして活動している方の話を直接聞いたのがよかった」「戯曲の楽しさを味わうことができた」など、参加者の満足度も高く、市民が芸術文化に触れるいい機会となりました。